

## 日本高血圧学会プレスセミナーのご案内

—特定非営利活動法人 日本高血圧学会 —

### 《開催趣旨》

我が国には4000万人以上の高血圧患者がいます。高血圧は、心不全、心筋梗塞、脳卒中、心房細動など、重大な心血管病の原因となることから、その予防、治療は大変重要です。血圧の管理が進み、我が国において大変多かった脳卒中は減少してきましたが、世界的に見るといまだ多く、また心筋梗塞や心不全は増えており、更なる血圧の厳格な管理が求められています。血圧の管理には、薬物ばかりでなく、食事、運動などの生活習慣の改善が重要です。とくに食塩の取りすぎは、高血圧の原因になります。最近塩分制限についていくつか異なる意見の論文が出て、世界的にも話題になっています。本セミナーにおいては、高血圧治療の重要性や高血圧学会の活動について、特に塩分制限と、東日本大震災時における当学会の活動についてお話したいと存じます。

【日時】 平成23年10月7日（金） 15：00～16：00（予定）

【場所】 東京ステーションコンファレンス 会議室503C+D  
（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー内 5階）

アクセス <http://www.tstc.jp/access/index.html>

### 【プログラム】

#### ◆司会

日本高血圧学会理事/大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 小室一成

#### 主催挨拶

##### ○高血圧学会の取り組み等

日本高血圧学会 理事長/自治医科大学 循環器内科学部門 教授 島田和幸

##### ○プレスセミナーの開催趣旨、世界高血圧の日について

日本高血圧学会 理事/大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 小室一成

#### 基調講演

##### ○日本高血圧学会の減塩活動

日本高血圧学会 理事/国立循環器病研究センター 生活習慣病部門長 河野雄平

##### ○震災時の血圧予防

～日本高血圧学会の取り組み～

日本高血圧学会 幹事/自治医科大学 循環器内科学部門 教授 苅尾七臣

### 【申込みについて】

別添の申込書に必要事項ご記入の上、FAX03-6801-9787（もしくはメール添付 office@jpnsh.org）にて事務局宛にお申し込みください。

申込期限 平成23年9月30日（金）

※当日はお名刺をご用意ください。

主催 / 日本高血圧学会

FAX : 03-6801-9787 日本高血圧学会事務局 行  
E-mail:office@jpnsh.org

返信期限 9月30日(金)

FAX 送信用紙 (申込書)

日本高血圧学会 プレスセミナー

日時：2011年10月7日(金) 15:00～  
場所：東京ステーションコンファレンス (会議室503C+D)  
(東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー内5階)  
アクセス <http://www.tstc.jp/access/index.html>

ご出席                      ・                       ご欠席

※ご欠席で、資料送付をご希望の場合は下記欄をご記入ください。

貴社名 \_\_\_\_\_

新聞 ・ 雑誌 ・ テレビ ・ ラジオ ・ ネット (○印を付してください)

媒体名 \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

ご芳名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ / FAX \_\_\_\_\_

E-Mail \_\_\_\_\_@\_\_\_\_\_

※何かご希望やご要望などございましたら、下記にご記入ください。

\_\_\_\_\_

※ご欠席の場合、資料送付希望の方は、下記に送付先をご記入ください。

住 所 〒 \_\_\_\_\_

名称/部署 \_\_\_\_\_

ご 芳 名 \_\_\_\_\_ 様 TEL \_\_\_\_\_

※ご出席の場合、当日はお名刺をご用意ください。

報道関係各位 殿

### 日本高血圧学会プレスセミナーのご案内

高血圧は最もポピュラーな病気であり、我が国の患者数は4000万に達すると推定されています。一般の方が恐れる心筋梗塞、脳卒中、心房細動など重大な心血管病の原因として、高血圧が関与することは多くの研究から明白であり、その予防、治療は大変重要です。病院の外来における140/90mmHg以上の血圧が高血圧であることは知られていますが、家庭血圧の基準などをご存じない方が多く、自覚症状がほとんど無いことから、高血圧と気付いていない、気付いても放置している、診断されているが十分に管理できていない方などが大部分であることも殆ど報道されていません。高血圧学会では、減塩をはじめとする生活習慣の改善を促す啓蒙活動を、高血圧協会と協力しながら進めており、多くの市民公開講座なども開催してきております。また学会活動として、高血圧に関する基礎および臨床研究を積極的に進めるとともに、あらゆる医師に利用いただける高血圧治療ガイドラインを編纂し、現在では3版目となるJSH2009を発行、数多くのガイドラインの中で最も利用されています。しかし、血圧の管理が進み、脳出血などは劇的に減少してきたにも関わらず、高齢化のスピードが著しい我が国では、心血管病の絶対数が減っておらず、心筋梗塞や心不全は増えているのが現状です。血圧の管理には、薬物ばかりでなく、食事、運動などの生活習慣の改善が重要であり、より多くの方々の理解を深めていただくために、マスメディアの皆様のお力添えを賜りたく、本プレスセミナーを企画致しました。

本セミナーでは、これまで身近でありながら意外に知られていなかった高血圧の実態について、様々な角度からご案内したいと考えております。まずは、癌やメタボリックシンドロームなどに比べて報道される機会が少なかった高血圧について、高血圧学会としての取り組み、今後の広報活動などをご紹介しますとともに、最近話題となっている塩分制限について減塩部会のエキスパートの先生よりお話をいただきます。また、東日本大震災では被災地における慢性疾患管理、特に高血圧の治療が問題になりました。この未曾有の天災における当学会の活動についても、阪神大震災時から多くの実績をもつ先生にお話いただくことになっております。

皆様には、大変お忙しい日々をお過ごしのこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数御臨席賜りますことを心よりお祈り申し上げます。

平成23年9月吉日

特定非営利活動法人 日本高血圧学会 広報委員会